



令和7年度 いわき市立汐見が丘小学校 学校経営ビジョン

福島県の教育

- 「第7次福島県総合教育計画」
- 個人と社会の Well-being(一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ)の実現
- 「福島らしさ」をいかした多様性を力に変える教育
- 福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育
- 学びの変革の推進

学校教育目標

- し 自分から進んで学ぶ子ども
- お お互いを思いやる子ども
- み みんな明るくたくましい子ども

学校スローガン 真顔がいっぱい

学び続ける元気な学校
優しく 厳しく 温かく

いわき市の教育

- 次代のいわきを担う子どもたちが、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「たくましく生きるための健康や体力」を身につけるとともに、「知・徳・体」のバランスの取れた「生きる力」を高めるための取組みを進め、いわきを支え、日本を支え、夢や未来に向かってチャレンジする人づくりの推進

めざす教師

- 認め、褒め、励まし、子どもたちの可能性を伸ばす教師
- チームワークを大切にし、互いに高め合う教師
- 家庭や地域との連携・協働に進んで取り組む教師

- 進んで活動する学校（あいさつ、返事、くつそろえ）
- 楽しく通える学校（温かな人間関係、学べる環境づくり）
- 信頼される学校（安全で安心な環境、保護者や地域との連携・協力）

めざす児童

知 進んで学ぶ子ども

- 自分の考えをもち、伝え合う子ども

徳 思いやる子ども

- 自他の思いを理解し、大切にする子ども

体 たくましい子ども

- 困難を乗り越え、最後までやり抜く子ども

努力目標

学びの環境の整備

- 1 「わかる」「できる」授業を工夫します。
- 2 基本的な学習の構えを身につけさせます。
- 3 読書の習慣化に努めます。

「教師は授業で勝負する」

目標値:学力テスト「アンダーアチーバーの減少」

温かな人間関係づくり

- 1 互いのよさを認め合う集団づくりに努めます。
- 2 互いの立場を考えた思いやりの心を育てます。
- 3 共に行動するよさや楽しさを味わわせます。

「己の欲せざる所 人に施すことなけれ」

目標値:「いじめ認知件数の減少・新たな不登校0」

たくましい心と体の育成

- 1 最後までやり抜くことの喜びを味わわせます。
- 2 進んで運動し、体力づくりに取り組む場を工夫します。
- 3 安全で健康な生活への意識を高めます。

具体的実践事項

1 学びの変革・授業力向上

- ・学びの変革を充実するための校内研修・コーディネート力の向上・思いや考え方を伝え合う活動の充実・振り返りの場の確保・ICTの効果的活用・「授業スタンダード」等の有効活用

2 学習の構えの定着

- ・「さわやかタイム」の実施・話の聞き方指導・ノート指導
- ・教室環境の整備・「家庭学習スタンダード」の効果的活用

3 読書の習慣化

- ・「朝の読書タイム」「読み聞かせ」の実施
- ・学校図書館の整備と利用の場の拡充

1 よさを認め合う集団づくり

- ・児童理解と自己実現に向けた支援や指導（日常指導・児童アンケート・教育相談・外部機関との連携）
- ・生徒指導の機能を生かした授業実践

2 思いやる心と実践力の育成

- ・相手に伝わるあいさつや返事、温かい言葉づかいへの継続指導
- ・道徳授業の充実・みんなで使うものや自然を大切にする態度の育成

3 協調性や自主性の育成

- ・縦割り班活動の充実（登校班・清掃班・児童会）
- ・自主的・奉仕的な活動の推進（無言清掃）

1 繼続して取り組む場の設定

- ・「早寝・早起き・朝ごはん・靴そろえ」等の推奨
- ・家庭と連携した生活リズムの確立

2 体力や運動能力の向上

- ・実態にあわせた運動身体づくりプログラムの実施
- ・体育の授業・体育的行事の充実及び外遊びの奨励

3 安全意識の向上

- ・登下校指導の継続・避難訓練、防犯教室の実施
- ・合同引き渡し訓練の実施・放射線教育の実施
- ・SNS等の使い方の約束と指導

開かれた学校づくりと家庭・地域との協働の推進にむけて

- 1 学校の様子を積極的に発信します。（学校ホームページの更新や各種たよりの発行）
- 2 家庭や地域との協働の場を充実させます。（各種行事や体験活動の工夫・『学校支援ボランティア』の協力依頼）